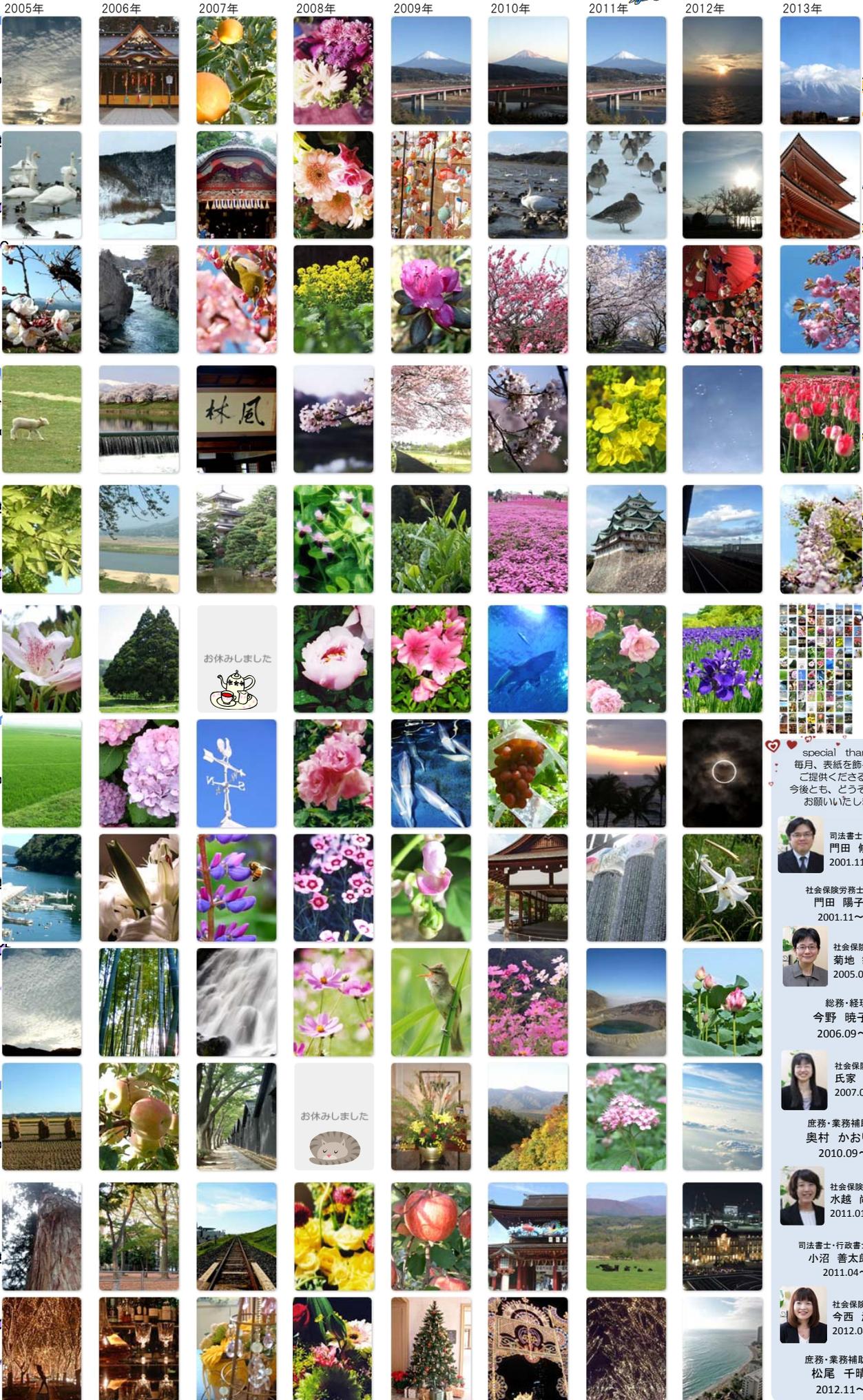


# Harmony通信 2013.06 vol.100

URL: <http://www.harmony-office.com/>  
 mail: [info@harmony-office.com](mailto:info@harmony-office.com)  
 tel:022-271-6751 fax:022-271-6758



special thanks!!!!  
 毎月、表紙を飾る写真を  
 ご提供くださる皆様♡  
 今後とも、どうぞよろしく  
 お願いいたします。♡

- 
 司法書士・行政書士  
**門田 修**  
 2001.11~
- 
 社会保険労務士  
**門田 陽子**  
 2001.11~
- 
 社会保険労務士  
**菊地 敏子**  
 2005.01~
- 
 総務・経理  
**今野 暁子**  
 2006.09~
- 
 社会保険労務士  
**氏家 明子**  
 2007.06~
- 
 庶務・業務補助  
**奥村 かつり**  
 2010.09~
- 
 社会保険労務士  
**水越 尚子**  
 2011.01~
- 
 司法書士・行政書士  
**小沼 善太郎**  
 2011.04~
- 
 社会保険労務士  
**今西 渚**  
 2012.04~
- 
 庶務・業務補助  
**松尾 千晴**  
 2012.11~

## 調査結果で明らかになった 「高齢者の雇用確保」の課題

### ◆「改正高年法対応」の実態と影響

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行った調査によると、回答した342社のうち92.4%が高齢者雇用確保措置として「再雇用」を選択しており、「勤務延長」「定年延長」「定年廃止」を選択する会社は少数でした。調査では高齢者の勤務形態や担当職務、処遇についても質問していますが、勤務形態は68.2%が「フルタイム」、担当職務は56.4%が「ケースバイケース」とする一方、36.8%が「原則として定年前と同じ」でした。再雇用後初年度の給与水準は、58.4%が「定年前の5～8割」、63.8%が「2年度目以降も同水準」としていました。

なお、改正高年齢者雇用安定法への対応の影響として34.2%が「若手の採用抑制」を挙げ、22.2%が「若手・中堅の賃金抑制」を挙げています。

### ◆サラリーマンの4割は「老後難民」予備軍!?

フィデリティ退職・投資教育研究所が20～50代の男女（1万1,507人）に行った調査によると、定年後の生活資金に必要な金額の平均は3,016万円でしたが、この金額を「準備できる」と回答したのは9.5%で、「少し足りないまでは準備できる」との回答も25.0%でした。準備できている額の平均は627.6万円、「0円」との回答は40.3%あり、定年に最も近い50代男性でも28.2%が「0円」と回答しています。

## 若者へのキャリア形成教育 ～年齢を重ねても活躍できる社員への育成～

### ◆「活躍できる高齢者」に育てること

高年齢者雇用安定法の改正（今年4月1日施行）により、希望者全員を65歳まで継続雇用することが義務付けられ、企業にとっては、高齢者を積極的に活用していくことが戦略上の重要な課題となっています。しかし、今会社にいる高齢者をどのように活用すればいいのかを考えるだけでは、問題の本質的な解決にはつながりません。今後は、「現在の若手社員に対して教育を行い、高齢になった時にも活躍できる存在に育て上げる」ことが求められます。

### ◆企業に求められること

キャリア形成教育は、若いうちから始めることが肝要です。20代・30代といった若手の年代から、40代、さらには50代まで、それぞれの年代に応じた教育システムを構築することができれば、各社員の能力向上において役に立てることができます。それぞれの年代にふさわしい目標を立てさせて仕事に取り組みせ、フィードバックするなどの方法の検討、試行を繰り返しながらプログラムを作っていくでしょう。

### ◆社員に求めるべきこと

社員個人としても、60歳以降の職業生活を見据えて自身自身のキャリアを形成する努力が必要です。この点については、研修等により、本人の意識の醸成を行うことなどが求められるでしょう。

## TOPIX

### 熱中症対策をお願いします！ ～詳しくはHP/リーフレットをご覧ください～

厚生労働省がまとめた昨年（平成24年）の「職場での熱中症による死亡災害の発生状況」によると、職場での熱中症による死者は21人で、依然として多くの方が亡くなっています。株式会社ウェザーニューズ社の調査によると、**昨年の夏季には日本人の3人に1人が「熱中症予備軍」**だったそうです。熱中症に至らないまでも、予備軍としての数はかなりの割合に上るようです。

#### ◆◆◆押さえておくべきポイント◆◆◆

- ◎建設、製造、運輸交通、貨物で発生割合が高い  
…とはいえ昨年は店舗内販売スタッフも熱中症になりました。
- ◎熱中症になると半数は4～7日の休業
- ◎40歳代の割合がもっとも高く、次いで50歳代、60歳代
- ◎経験年数が1年未満の労働者の被災が多い
- ◎全体の約3分の2が労働者数50人未満の事業場で発生
- ◎どの時間帯でも発生するがピークは15時
- ◎気温30℃以上での被災が多い
- ◎WBGT値（暑さ指数）が25度以上31度未満での発生が大半

- 労働相談(25万4,719件)の内容～「パワハラ」が初めて最多に(6/1)  
厚生労働省は、2012年度に労働局などで受け付けた労働相談（25万4,719件）のうち、「パワハラ（いじめ・嫌がらせ）」に関するものが5万1,670件（前年度比12.5%増）となり、集計を開始した2002年以降で初めて最多となったと発表した。これまで最多だった「解雇」は5万1,515件（同10.9%減）で、「労働条件の引き下げ」が3万3,955件（同7.9%減）で続いた。
- 改正障害者雇用促進法が成立(6/14)  
企業に精神障害者の雇用を義務付ける改正障害者雇用促進法が、参議院先議のうえ、衆議院本会議で可決、成立しました。2018年4月施行ですが、5年間は企業の負担を配慮して弾力的に運用を行うほか、障害者の採用や賃金に関する不当な差別が2016年4月から禁止されることとなります。
- 東京圏の労働者は30年後に23%減少 国交省見通し(6/12)  
国土交通省が「首都圏白書」を発表し、2040年時点における東京圏（東京、千葉、埼玉、神奈川）の生産年齢人口（15歳～64歳）が2010年と比較して約23%減（約550万人減）となる見込みであることがわかりました。高齢者の人口については5割増となる見通しです。
- 年金制度の抜本見直し案の議論見送りへ(6/14)  
政府の社会保障制度改革国民会議は「最低保障年金」や「公的年金一元化」などの年金制度の見直し案について、議論を見送ることと一致しました。当面は、現行制度での支給開始年齢の引上げなど、合意しやすい議論を先行して行っていく方針です。

### 編集後記

2005年1月、現在の場所に事務所を置いた月に始めた【Harmony通信(旧 Harmony News&topics)】。いよいよ今月、100号を迎えました！毎月、お伝えすべき情報、お伝えしたい情報を、ピックアップしてまとめてきました。作り始めてから2回～つわりが一番辛かった月と、仕事に完全に復帰して育児と仕事であつというまに過ぎてしまった月～合併号にさせて頂きました。だから本当の100号より2か月遅れ。

2007年、少しでもお役にたてる記事を増やそうと表紙の写真をお小さくしたら、お客様：『写真はどうなっちゃったの？』

カドタ：「えっ…記事より写真？！(´o`)」

なーんてこともありました(笑)。そんなことから、いつしか表面下半分にあつた【毎月のご挨拶】も姿を消しました(照)。これからも、いつまでも、私たちが選んだ情報をお伝えすることにこだわり、手作り感満載でまいります。次に表紙特集をするのは200号の時でしょうか…ああ、言っちゃった！実に8年4か月後＝2021年10月…それまで、引き続きよろしくお願ひします。

## Harmony通信 2013.6

#発行：2013年6月10日

#編集・構成：合同会社Harmony

Harmony司法書士事務所  
Harmony社会保険労務士事務所  
Harmony行政書士事務所

ADDRESS: 〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町 4-11 伊藤ビル 1F

TEL: 022-271-6751 FAX: 022-271-6758

URL : <http://www.harmony-office.com/>

mail : [info@harmony-office.com](mailto:info@harmony-office.com)

修日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-osamu/>

陽子日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-yoko/>

スタッフ日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-office/>